

令和元年度

一般会計・特別会計決算の概要

行方市

目

次

1	予算執行の概況	P	1
2	一般会計決算の概要	P	1
	（1）歳入	P	1
	（2）歳出	P	5
3	特別会計決算の概要	P	8
4	引上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費一覧	P	10

1 予算執行の概況

令和元年度の予算については、「行方市総合戦略書」に掲げる5つの重点プロジェクトを推進させることを目標とした予算編成を行ってきました。

一方、平成28年度からは、普通交付税算定において旧3町分算定、いわゆる合併算定替の増額分が縮減していく激変緩和措置期間が始まり、令和3年度の行方市一本算定額まで減少していくため、行政改革等、歳出の抑制を行っていかねばならないところです。

予算規模については、少子高齢化社会を迎え、社会保障の増額に対応することを考慮しながらも、予算の肥大化を防ぐこととし、本市の身の丈に合った予算編成を目指したものでありますが、一方では、「安全安心なまちづくり」を考慮することも重要であり、それらのバランスを大事にしながら、各種事業を展開してまいりました。

令和元年度は、市営路線バスの運行拡大、なめがたエリアテレビの視聴世帯拡充、幼児教育保育の無償化への対応、令和元年房総半島台風(台風第15号)、東日本台風(台風第19号)及び10月25日の大雨による被害に対する災害復旧等へ優先的に予算を配分しました。

これらの結果、令和元年度一般会計の決算額は、歳入17,394,416千円、歳出16,721,838千円となり、特別会計7会計を併せた決算額については、歳入27,904,989千円、歳出26,727,174千円となりました。

2 一般会計決算の概要

予算現額17,934,034千円に対し、歳入決算額は17,394,416千円、予算に対する比率は96.99%、歳出決算額は16,721,838千円、予算に対する比率は93.24%でした。ただし、歳出については、令和2年度への繰越額が572,380千円と、令和元年度事業進捗の遅れにより発生しています。繰越額を除いた執行率は、96.31%となりました。

歳入歳出の差引額は672,578千円で、翌年度への繰越明許費充当の一般財源152,582千円、事故繰越し充当の一般財源3,877千円を差し引いた実質収支は516,119千円となりました。

(1) 歳入（別冊 会計別各種決算状況綴り P3～P8 参照）

○市税

市民税の個人住民税については、対前年度比+0.3%、4,835千円の増額となり、法人市民税は、対前年度比▲5.1%、8,921千円の減額となりました。

固定資産税については、土地は、前年度と比較して5,482千円の減額、家屋は、前年度と比較して23,077千円の増額、償却資産は、太陽光発電施設の増加により前年度と比較して81,244千円の増額となったことから、対前年度比+5.4%、98,839千円の増額となりました。

軽自動車税については、税制改革及び軽自動車の低価格・低燃費による安定した人気等による登録台数が増えたほか、令和元年10月1日から環境性能割が創設されたことにより対前年度比+1.9%、2,318千円の増額となりました。

たばこ税については、近年の健康志向による喫煙者の減少等により、対前年度比▲0.9%、

2,252千円の減額となりました。

入湯税については、前年度比▲8.5%、2,003千円の減額となりました。

市税全体として、対前年度比+2.1%、82,927千円増額の4,017,184千円となりました。

○地方譲与税

地方譲与税については、地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税及び令和元年度に創設された森林環境譲与税が交付対象となっており、当初予算において、令和元年度における国の地方財政計画を踏まえ計上したところです。

地方揮発油譲与税については、ガソリンに課税されているガソリン税（1リットル当たり53.8円）のうち地方揮発油税（1リットル当たり5.2円）を原資とし、その42%が譲与税として市町村に配分されるものです。その算定方法は、道路台帳に記載された道路の延長及び面積を基礎に按分されます。決算額は、69,112千円となり、前年度と比較して8,931千円の減額となりました。

自動車重量譲与税については、国税である自動車重量税を原資に、その407/1000が譲与税として市町村に配分されるものです。その算定方法は、地方揮発油譲与税と同様に道路台帳に記載された道路の延長及び面積を基礎に按分されます。決算額は、199,034千円となり、6,785千円の増額となりました。

森林環境譲与税については、地方公共団体金融機構の公庫債権金利変動準備金を活用し、人口割30%、林業就業者数割20%、人工林面積割50%の割合で配分されます。決算額は、2,980千円となりました。

○利子割交付金 ○配当割交付金 ○株式等譲渡所得割交付金

利子割・配当割・株式等譲渡所得割の各交付金については、預金等利子に係る利子税（県民税分）、特定配当等額に対する配当割課税等県税として一括徴収されたものについて、住民税の考え方にに基づき、その3/5が市町村に交付金として配分されます。景気及び株価の影響により増減することから、利子割交付金については2,940千円の減額の2,818千円、配当割交付金については2,534千円の増額の15,725千円、株式等譲渡所得割交付金については1,852千円の減額の9,581千円となりました。

○地方消費税交付金

地方消費税交付金は、地方消費税を原資に、その1/2が市町村に交付金として配分されるものです。いわゆる消費税10%のうち2.2%が地方消費税で、1%分については、国勢調査人口と事業所統計による従業員数により按分し、1.2%分については、国勢調査人口により按分され、社会保障費の財源に限定し使用することとされています。

令和元年度は、一般財源分が335,057千円、社会保障財源分が253,974千円、合計589,031千円となり、前年度と比較して20,172千円の減額となりました。

○ゴルフ場利用税交付金

ゴルフ場利用税交付金は、ゴルフ場が所在する市町村に対し、県が徴収した当該ゴルフ場に係る利用税の7/10が市町村に交付されるものです。ゴルフ場利用税は、1人1日につき課税され、施設の規模や管理状態、利用状況等に応じ等級化されています。

本市においては、400円2施設、450円4施設、600円1施設、650円2施設の合計9つの施設がありますが、対前年度比▲4.9%、6,072千円の減額となり、決算額は117,953千円となりました。

○自動車取得税交付金

自動車取得税は、取得価額50万円を超える自動車の取得に対し、その取得者に課す県税ですが、この自動車取得税を原資に、その7/10が自動車取得税交付金として市町村に交付されます。その算定方法は、道路台帳に記載された道路の延長及び面積を基礎に按分されます。令和元年9月30日をもって廃止となったことから、対前年度比▲47.8%、35,444千円の減額となり、38,731千円が収入額となりました。

○地方特例交付金

地方特例交付金については、住宅借入金等特別税額控除分が交付されているほか、本年度は、自動車税の環境性能割及び軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減による減収を補填するための自動車税減収補填分及び軽自動車税減収補填分、並びに幼児教育保育の無償化に伴う子ども・子育て臨時交付金が交付されています。対前年度比+248.4%、38,391千円の増額となり、53,846千円が収入額となりました。

○地方交付税

地方交付税については、国税の法定割合額(所得税33.1%、法人税33.1%、消費税22.3%、酒税50.0%、地方法人税100%)を原資とし、地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスを提供できるよう財源を保障するためのものです。本年度は、税収の増加や合併算定替による縮減の影響がある一方で、自然災害への対応などから、前年度と比較して45,971千円増額の5,727,888千円が収入額となりました。

内訳として、普通交付税については、前年度と比較して104,270千円減額の5,198,768千円。特別交付税については、前年度と比較して151,248千円増額の525,194千円。震災復興特別交付税については、前年度と比較して1,007千円減額の3,926千円が収入額となりました。

○交通安全対策特別交付金

交通安全対策特別交付金は、交通反則金を原資に、その1/3が市町村に交付されるもので、前年度から27千円減額の2,763千円となりました。

○分担金及び負担金

分担金及び負担金については、幼児教育保育の無償化に伴う保育料負担金の減少等により、対前年度比▲22.9%、23,352千円の減額となりました。

○使用料及び手数料

使用料及び手数料については、幼児教育保育の無償化に伴う幼稚園授業料の減少等により、全体として対前年度比▲10.5%、15,217千円の減額となりました。

○国庫支出金

国庫支出金は、前年度と比較して+10.6%、195,492千円の増額となり、決算額は2,048,019千円となりました。

内訳をみると、国庫負担金については、国民健康保険に対する保険基盤安定負担金、心身障害者等に係る補装具の購入、修理等の福祉サービスに対し国が1/2を負担する障害者自立支援給付費国庫負担金、児童手当・保育所運営に係る経費に対し、国が一定の割合で負担する負担金等です。決算額については、前年度と比較して92,151千円増額の1,460,846千円となりました。

次に、国庫補助金の主なものについては、社会資本整備総合交付金、特定防衛施設周辺整備調整交付金、再編交付金、災害廃棄物処理事業費補助金等です。決算額については、前年度と比較して102,875千円増額の551,146千円となりました。

国庫委託金の主なものは、国民年金事務費交付金、中長期在留者住居地届出等事務委託費等です。決算額については、前年度と比較して466千円増額の36,027千円となりました。

○県支出金

県支出金は、前年度と比較して+14.7%、151,257千円の増額となり、決算額は1,177,979千円となりました。

内訳をみると、県負担金については、保険基盤安定負担金や障害者福祉に係る負担金、子ども・子育て支援新制度への制度改正による保育所等に対する施設型給付費負担金等です。前年度と比較して19,734千円増額の642,755千円となりました。

県補助金については、新市町村づくり支援事業補助金や農業関係の補助金が主なもので、補助金の決算額は、前年度と比較して123,242千円増額の450,498千円となりました。

県委託金については、参議院議員選挙が執行されたことから前年度と比較して8,282千円の増額となり、決算額は、84,726千円となりました。

○財産収入

財産収入は、光ファイバ網貸付収入、売払収入、財政調整基金利子等の財産運用収入ですが、対前年度比+55.4%、44,715千円の増額となり、決算額は、125,398千円となりました。

○寄附金

寄附金については、ふるさと応援寄附金、SDGs啓発に関する指定寄附金及び小学校整備指定寄附金がありました。

ふるさと応援寄附金については、平成20年度から施行されていますが、12年目となる令和元年度については、9,957件、192,148千円をいただきました。また、企業版ふるさと応援寄附金についても、2件、1,100千円をいただきました。

SDGs啓発に関する指定寄附金については、1件、200千円をいただきました。

小学校整備指定寄附金については、2件、400千円をいただきました。

○繰入金

特別会計からの繰入金として、介護保険特別会計から、平成30年度決算に伴う繰出金精

算による返戻分として、16,562千円の繰入れをしました。

各種基金からの繰入れについては、財源不足に対応するための財政調整基金からの繰入れ、ふるさと応援寄附金の事業繰入れ、玉造庁舎空調設備工事に伴う繰入れ、有機肥料供給センター改修工事に伴う繰入れ等を主なものとし、結果として、繰入金全体においては、前年度と比較して+27.9%、187,193千円増額の857,750千円が決算額となりました。

○繰越金

繰越金については、繰越事業に係る一般財源を含め、500,763千円となり、前年度と比較して32,237千円の減額となりました。

○諸収入

諸収入については、延滞金、弁償金、各種納付金、雑入等がありますが、対前年度比+10.0%、40,833千円増額となる447,388千円が決算額となりました。

○市債

道路整備、防災対応型エリア放送整備事業等の財源として、市債を起こしました。また、臨時財政対策債を一般財源として借り入れたことにより、決算額は、976,000千円となり、対前年度比▲17.8%、211,600千円の減額となりました。

○環境性能割交付金

令和元年10月1日から自動車を取得した場合に自動車環境性能割が課税されることに伴い創設され、11,903千円が決算額となりました。

(2) 歳出 [詳細については主な施策の成果説明参照]

(別冊 会計別各種決算状況綴り P9～P14 参照)

○議会費

議会費は、決算額149,706千円、支出済額合計額に対する構成比は0.90%となりました。前年度と比較すると▲1.6%、2,437千円の減額となっています。

主なものは次のとおりです。

- ① 議会運営 定例会、臨時会、常任委員会、議会運営委員会等に係る経費
- ② 議員研修 常任委員会、議会運営委員会、広報委員会等による政策事業の先進地の視察研修

○総務費

総務費は、決算額3,078,775千円、構成比18.41%となりました。前年度と比較すると+0.8%、24,945千円の増額となっています。

主なものは次のとおりです。

- ① 総務管理 文書管理、財産管理、広報、交通安全、防犯、戸籍、選挙、企画事務、交通対策、統計、情報システム等に係る経費
- ② 税務・財務 市税賦課・徴収事務、財政・会計事務等に係る経費

- ③ 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業 道路整備事業・有機肥料供給センター整備改修事業・防災まちづくり基金積立事業・実践的英語能力育成基金積立事業
- ④ 再編関連訓練移転等交付金事業 防犯カメラ設置事業, 水道施設更新事業, 基金積立事業
- ⑤ 地方創生に関する事業 なめがた情報発信まちづくり活性化事業, 公共交通再編プロジェクト

○民生費

民生費は、決算額 4,982,898 千円、構成比 29.80%となりました。前年度と比較すると+3.1%, 151,112 千円の増額となっています。

主なものは次のとおりです。

- ① 扶助費の支給 障害者更生援護事業, 障害者福祉サービス事業, 老人保護措置事業, 児童手当支給事業, 生活保護費, 医療福祉事業等
- ② 高齢者福祉対策 長寿祝い金, 敬老祝賀記念品, 愛の定期便, 老人クラブ補助事業, シルバー人材センター補助事業等
- ③ 児童福祉対策 子育て支援事業, 放課後児童クラブ運営事業, 保育所運営委託等

○衛生費

衛生費は、決算額 1,169,824 千円、構成比 7.00%となりました。前年度と比較すると+2.3%, 26,838 千円の増額となっています。

主なものは次のとおりです。

- ① 保健事業 健康診査・各種検診・各種予防接種の実施・公的病院運営補助, 子育て世代包括支援センター事業 等
- ② 環境対策 ごみ収集委託, し尿処理, 水質浄化事業 等
- ③ 塵芥処理 環境美化センターでの塵芥処理, リサイクルプラザの運営

○農林水産業費

農林水産業費は、決算額 813,195 千円、構成比 4.86%となりました。前年度と比較すると+11.7%, 85,151 千円の増額となっています。

主なものは次のとおりです。

- ① 農道整備 農道整備事業
- ② 農業振興 転作推進, 病虫害防除, 園芸農業推進, 国・県補助金に係る補助事業等の実施, 林業・水産業・畜産業振興等
- ③ 土地改良促進 各土地改良区への事業費補助金等

○商工費

商工費は、決算額 301,205 千円、構成比 1.80%となりました。前年度と比較すると▲4.9%, 15,467 千円の減額となっています。

主なものは次のとおりです。

- ① 商工振興 金融制度保証料補給, 商工団体等への補助支援, 消費生活センター運営等の消費者行政推進, 求人情報の発信

- ② 観光振興 帆引き船運航事業，まちづくり活性化事業，霞ヶ浦ふれあいランド基本計画策定，道の駅管理事業，温浴施設及び観光交流センター管理事業

○土木費

土木費は，決算額 1,746,651 千円，構成比 10.45%となりました。前年度と比較すると▲9.5%，182,416 千円の減額となっています。

主なものは次のとおりです。

- ① 都市計画 企業誘致活動，公園管理等
- ② 道路整備 市道の新設・改良・維持，河川改修・維持等
- ③ 住宅管理 市営住宅の管理，被災住宅復旧緊急支援事業等

○消防費

消防費は，決算額 805,167 千円，構成比 4.82%となりました。前年度と比較すると▲4.1%，34,756 千円の減額となっています。

主なものは次のとおりです。

- ① 常備消防 鹿行広域事務組合への負担金
- ② 非常備消防 消防団活動の充実・強化，各種訓練等
- ③ 消防施設 消防施設管理整備，消防用備品購入，消火栓新設・修繕
- ④ 防災 防災行政無線施設整備・管理，防災減災用備蓄品等

○教育費

教育費は，決算額 1,682,494 千円，構成比 10.06%となりました。前年度と比較すると▲4.9%，86,827 千円の減額となっています。

主なものは次のとおりです。

- ① 学校教育 学校管理，幼稚園管理，教育振興事業，国際教育推進，ICT教育推進，特別支援教育支援事業等
- ② 生涯学習 文化財保護，成人式運営，青少年育成，子ども会育成，文化会館・公民館の維持管理，図書館運営等
- ③ スポーツ振興 社会体育振興事業，体育施設の維持管理，茨城国体選手強化支援事業，海洋スポーツ振興等

○災害復旧費

災害復旧費は，決算額 127,680 千円，構成比 0.76%となりました。台風及び大雨被害による災害復旧費として支出しています。

○公債費

公債費は，決算額 1,864,243 千円，構成比 11.15%となりました。前年度と比較すると+3.0%，54,923 千円の増額となっています。

主なものは次のとおりです。

- ① 地方債償還元金 1,711,738 千円
- ② 地方債償還利子 152,505 千円

3 特別会計決算の概要

(1) 国民健康保険特別会計（別冊 会計別各種決算状況綴り P17～P23 参照）

予算現額は4,885,402千円で、歳入決算額が4,860,188千円、予算に対する比率は99.48%、歳出決算額が4,852,973千円、予算に対する比率は99.34%でした。

歳入歳出の差引額は7,215千円で、翌年度への繰越しがなかったため、実質収支についても同額の7,215千円でした。

(2) 介護保険特別会計〔保険事業勘定〕（別冊 会計別各種決算状況綴り P24～P29 参照）

予算現額は3,825,580千円で、歳入決算額が3,855,202千円、予算に対する比率は100.77%、歳出決算額が3,705,810千円、予算に対する比率は96.87%でした。

歳入歳出の差引額は149,392千円で、翌年度への繰越しがなかったため、実質収支についても同額の149,392千円でした。

(3) 介護保険特別会計〔サービス事業勘定〕（別冊 会計別各種決算状況綴り P30～P33 参照）

予算現額は6,747千円で、歳入決算額が8,909千円、予算に対する比率は132.05%、歳出決算額が5,977千円、予算に対する比率は88.59%でした。

歳入歳出の差引額は2,932千円で、翌年度への繰越しがなかったため、実質収支についても同額の2,932千円でした。

(4) 後期高齢者医療特別会計（別冊 会計別各種決算状況綴り P34～P36 参照）

予算現額は365,288千円で、歳入決算額が355,322千円、予算に対する比率は97.27%、歳出決算額が354,157千円、予算に対する比率は96.95%でした。

歳入歳出の差引額は1,165千円で、翌年度への繰越しがなかったため、実質収支についても同額の1,165千円でした。

(5) 農業集落排水事業特別会計（別冊 会計別各種決算状況綴り P37～P42 参照）

予算現額は292,836千円で、歳入決算額が287,902千円、予算に対する比率は98.32%、歳出決算額が257,326千円、予算に対する比率は87.87%でした。

歳入歳出の差引額は30,576千円で、翌年度への繰越しがなかったため、実質収支についても同額の30,576千円でした。

(6) 特定環境保全公共下水道事業特別会計（別冊 会計別各種決算状況綴り P43～P48 参照）

予算現額は762,978千円で、歳入決算額が667,907千円、予算に対する比率は87.54%、歳出決算額が424,550千円、予算に対する比率は55.64%でした。

歳入歳出の差引額は243,357千円で、継続費通次繰越の事業がありましたが、翌年度へ繰り越すべき一般財源がなかったため、実質収支についても同額の243,357千円でした。

(7) 流域関連公共下水道事業特別会計（別冊 会計別各種決算状況綴り P49～P53 参照）

予算現額は370,251千円で、歳入決算額が356,145千円、予算に対する比率は96.19%、歳出決算額が303,710千円、予算に対する比率は82.03%でした。

歳入歳出の差引額は52,435千円で、翌年度の繰越明許費充当の一般財源2,211千円を差

し引いた実質収支は 50,224 千円となりました。

(8) 戸別浄化槽整備事業特別会計(別冊 会計別各種決算状況綴り P54~P58 参照)

予算現額は 136,255 千円で、歳入決算額が 118,998 千円、予算に対する比率は 87.34%、歳出決算額が 100,833 千円、予算に対する比率は 74.00%でした。

歳入歳出の差引額は 18,165 千円で、翌年度への繰越しがなかったため実質収支についても同額の 18,165 千円でした。

4 引上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる
 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費一覧

（歳入）

・地方消費税交付金（社会保障財源化分）決算額 253,974 千円

（歳出）

・社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 4,792,681 千円

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】

（単位：千円）

事業名		経費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	
			国県 支出金	市債	その他	引き上げ分の 地方消費税 （社会保障財 源化分の市町 村交付金）	その他
社会 福祉	障害者福祉事業	807,217	563,172			27,189	216,856
	高齢者福祉事業	57,959	401		3,007	6,077	48,474
	児童福祉事業	1,384,798	956,339		70,285	39,904	318,270
	母子福祉事業	127,587	43,445			9,374	74,768
	生活保護事業	437,622	317,182		3,541	13,024	103,875
	医療福祉事業	247,567	94,609		40,078	12,576	100,304
	小計	3,062,750	1,975,148		116,911	108,144	862,547
社会 保険	介護保険事業	594,080	17,299			64,259	512,522
	国民健康保険事業	381,863	180,293			15,761	185,809
	後期高齢者医療事業	520,909	64,624		4,100	50,377	401,808
	小計	1,496,852	262,216		4,100	130,397	1,100,139
保健 衛生	予防接種事業	63,913	1,120			6,996	55,797
	健康増進事業	52,838	1,593		9,443	4,657	37,145
	地域医療対策事業	84,535			37,172	951	46,412
	母子保健事業	31,793	2,403		4,000	2,829	22,561
	小計	233,079	5,116		50,615	15,433	161,915
合計		4,792,681	2,242,480		171,626	253,974	2,124,601